

三井物産に勤めた加地利夫（初代ロンドン支店長）の葉山の別邸。竣工は1928年、設計はフランク・ロイド・ライトの弟子にあたる遠藤新である。遠藤は、建築から、家具、照明器具に至るまで、総合的に設計する「全一」という建築哲学をもつていたが、「加地邸」はまさにその「全一」を実現した住宅だろう。住宅遺産トラストにて、新たな引き取り手を募集している。

加地邸



写真：小野吉彦